

編集後記

台南市文化局長に6日間同行した際、銀閣寺にお連れしました。日本つうの局長は、金閣寺より渋い銀閣寺をお気に召したようでした。銀閣寺は足利義政が月を見るために建てた別荘です。庭園には白川砂という京都特産の砂を用いた銀沙灘が美しい波模様を作っています。この白川砂、反射率が新雪とほぼ同じだそうで、周りが真っ暗だった当時、どれほど明るく月の光を照らしたかが伺えます。きっとこの庭園で、義政は静かにお月見をされたのでしょうね。

ところが台湾の中秋節では状況は全く異なります。旧暦の8月15日の前日までに、友人や親戚に月餅や文旦を贈ります。丸い月餅は団欒の象徴、文旦は旬の果物というわけです。そして家族や友人と屋外で賑やかにバーベキューを楽しみます。月を愛でる理由をつけて実は月は観ていない、花より団子ですね。日本のお花見と似ているような・・・。

今年の中秋節は9月19日でしたが、皆様はお月見の行事はなさいましたでしょうか。

静かで風流な日本のお月見に憧れつつも、食重視の台湾スタイルが自分に合っていると、お土産の月餅をほおぼりながら思ったのでした。

(M.N.)